

# プラズマ・核融合学会誌

第90巻第2号

2014年2月

小 特 集	宇宙気候学	
	1. はじめに .....	草野完也, 長谷川裕記 105
	2. 宇宙気候学の現状と課題 .....	草野完也 107
	3. 太陽活動と地球環境変動	
	3.1 太陽活動の長期変動 .....	草野完也 112
	3.2 太陽放射変動と気候変動 .....	小寺邦彦 116
	3.3 太陽活動に伴う宇宙線変動と気候変動 .....	宮原ひろ子 122
	3.4 27日太陽周期の雲変動と太陽活動 .....	高橋幸弘 128
	3.5 天文学的視点から見た「The Faint Young Sun Paradox」 .....	今田晋亮 132
	4. 大気電気学—全地球回路— .....	高橋幸弘 137
	5. 宇宙線による微粒子形成 .....	増田公明 141
	6. おわりに：宇宙気候学の将来展望 .....	草野完也 146
	用語解説 .....	148
講 座	プラズマプロセスを用いた炭素材料合成の実際と産業利用における課題	
	3. プラズマ CVD による単結晶ダイヤモンド合成の現状と課題 .....	山田英明 152
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		159
インフォメーション		161
	幅広いアプローチ活動だより(47)	
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(43)	
	【会議報告】8th International Conference on Inertial Fusion Sciences and Applications (IFSA 2013) / プラズマ数値シミュレーションに関する国際会議 (ICNSP2013) / 第16回レーザー応用プラズマ計測に関する国際シンポジウム	
	【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar		172
本 会 記 事		174
	PLASMA2014 シンポジウムの募集 / 第26回専門講習会報告 / 学会賞募集のお知らせ	
	【こちら編集委員会です】学会誌のページ数にご注目を!	

## 表紙の絵

先進ブランケットを指向した有機金属化学気相成長法 (MOCVD) による大面積被覆断面組織の透過電子顕微鏡 (TEM) 写真. 新たに開発された Er 有機金属錯体 (Er(IBM)<sub>3</sub>) によって従来の錯体よりも低温度成膜を実現し, 緻密な酸化エルビウム (Er<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) 層が基材金属に対して柱状的に生成している. 最近では気相成膜の特徴を活かして, 複雑形状あるいは配管内壁等への成膜を試みている. (Yoshimitsu HISHINUMA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.9, 1405004 (2014) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.